

光 明 寺 通 信

こ う み ょ う

第 8 号 (臨時号)

この如来は光明なり。 光明は智慧なり。

智慧はひかりのかたちなり。

親鸞聖人著作『一念多念文意』

4月8日、花まつり法要前の午前中に「帰敬式」(おかみそり)を執り行いました。帰敬式を受け、新たに16名の仏弟子が誕生いたしました。この16名の方々は、1月からの「真宗門徒入門講座」に参加され、念仏申す生活についての学びを深め、この日を迎えられました。今後とも、同じ教えを聞く朋(とも)として、一緒に歩んでいきたいと思います。

来年も開催したいと思しますので、ぜひ多くの方にご参加いただきたく、このたび臨時号を発行し、「真宗門徒入門講座」と「帰敬式」、そして、「花まつり」の様子をお知らせいたします。合わせて、第1回目の「写教の会」の様子もお知らせいたします。私も一緒に参加いたしました。が、書写をするということ、静かに教える言葉に向き合う時間、良かったです。

「写教の会」に、皆さま、ぜひ一度ご参加ください。



第8号 (臨時号)

2018年5月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

メールアドレス：

koumyouji@sky.plala.or.jp

真宗門徒入門講座 開催



「正信偈」のお勤めのお稽古をしました

帰敬式を受式し、法名をいただくための「真宗門徒入門講座」が、1月から4月にわたり、月に1回のペースで開催されました。この講座に、16名の方々が参加されました。1月から全4回のこの講座、大きな願いとしては「念仏申す生活を」という言葉を掲げ、第1回目には「礼拝の生活」、第2回目には「聞法の生活」、第3回目には「正信の生活」というテーマのもと真宗門徒の生活を確かめ、そして4回目に帰敬式を受式いただき、「帰依三宝の生活」を共に習いました。



「真宗門徒の生活」についてのお話しです



お茶を飲みながら、お話し合いです

光明寺では、はじめての入門講座であり、帰敬式でありました。

毎回の日程は、まずは皆さんで「真宗宗歌」を一緒に歌って、「正信偈」のお勤め。その後、住職より、「正信偈」のお勤めのお稽古として、難しい所や、注意するところについての説明をいたしました。

お勤めとお稽古が終わりましたら、2階の客殿にて、住職より、「真宗門徒の生活」についてお話をいたしました。皆さん、慣れていないこともあり、少々難しかったことと思います。易しく、伝わるようにお話できるように、私も勉強させていただきました。

住職からのお話の後は、皆さんでお茶を飲みながら話し合いをいたしました。素直な疑問などもお聞きできて、良かったです。



さて、4回目の4月8日には帰敬式を執り行いました。すでに帰敬式受式済みである、総代の佐藤利三さんに見届けていただき、厳肅な雰囲気でおかみそりをあてさせていただきました。法名は、亡くなった時にお寺さんにつけてもらうものではなくて、今のいのちを生きて往く名前であって、本来、生きている現在にいただくものなのです。

「釋(尼)〇〇」が、正式な法名で、「釋」はお釋迦さまから一字いただいていますので、仏弟子になるという意味があります。

仏弟子としての、新たな生き方が始まることとが願われています。



感想をいただきましたので、

ご紹介します(50音順)

市原龍生さん 釋龍諦

本日は無事法名をいただき、仏弟子となり、初心を忘れず今後生きたいと思います。

小田切誠さん 釋誠願

今回は大変ありがとうございました。

真宗門徒になること、法名をいただくことの本当の意義は何なんだろうと考えさせられる帰敬式となりました。

ご住職の法話は大変わかりやすく、大変奥深い知識をお持ちで、教えられることが全てが新たな発見でした。

今までの自分から、どう変わるのか、本日の「転」に学び、少しでも教えに近づける様、日々生活してゆきたいと思えます。

北村叔子さん 釋尼叔明

太平洋戦争の時、14才で戦火の中を逃げまどい、何度も危ない中、不思議に助かり、こんなに長く、生かされて、この度法名をいただけたこと、本当に不思議な有難い思いです。

これ迄に出あえた多くの方々への感謝の気持ちが改めて嬉しく、どうぞ今後共御指導の程、お願い申し上げます。

志村重徳さん 釋徳重

心を新たにして、人に尽くす心をもつうに行きたいと思えます。



志村多英子さん 釋尼英清

弟を亡くしたことで仏門と通ずることとなり、今後のことを思い参加となりましたが、正信偈を正しく教わったことが一番、そして門徒の方々との交流に出会え、自分は若い方でしたが良かったかと…。

そして、本山への真宗本廟奉仕のお話、賛成します。

(旅行かたがた本山参り、良いお話です)
南無阿弥陀仏

志村友徳さん 釋幸徳

4年前に長男を亡くし、ひたすら仏壇の前に、朝夕手を合わせ、仏さまに成って、家族を見守ってほしいと、4年間一日もかかず手を合わせてきました。

本日、4月8日、帰依三宝、仏・法・僧に帰依することとなり、法名をいただき、仏弟子として、それをよりどころとし、これから朝夕仏壇に手を合わせていきます。

二宮司さん 釋司然

4回の入門講座、いろいろと有難うございました。

真宗のこと、少し学びたいと思い申込みさせて頂きましたが、帰敬式を終えたいまいよいよこれからが大事な日々であると思っております。

小林住職の法話、むずかしい話をとても解りやすく、本当に有難うございました。真宗のことを良く学び、修められておられ、すごく勉強になりました。

真の仏弟子には遠い道のりかと思いますが、日々学び、努力して行きたいものと念じております。

根上美保子さん 釋尼美證

真宗門徒入門講座に参加させていただき、ありがとうございました。

日常生活ではあまり宗教に縁のない生活でしたので、色々と考えさせられました。人々との会話、感謝の気持ち、あたりまえのことなのに、できていない自分に気付きました。これからは心のよりどころとして生きていきたいと思えます。



原田英彌さん 釋英諦しやくえいたい

73才 新しい人生に感謝

福満千代さん 釋尼千照しやくにせんしょう

真宗門徒入門講座を受け、本日御法名をいただくことが出来まして、本当にうれしく思います。

いままでは、朝お念仏をとるだけでしたが、講座で御法話を聞き、真宗宗歌、恩徳讃をうたい、今までにない奥深さを感じました。これからも色々参加していきたいと思います。

私ごとですが、亡くなった主人が4月8日納骨でした。その日、先代御住職様が、あま茶を用意して下さったことをなつかしく思い出しました。



前沢孝昌さん 釋顯昌しやくけんしょう

今日は私にとって思いもかけない一日でした。

今迄、仏門は縁遠いものと思っておりましたが、真宗門徒入門講座を受講し改めて自分の無知を知り、この度法名を戴いたことで、法名の元、新しい人生を見つめ直すと共に仏の道に少しでも自分の身が入る様に進んでいきたいと思っています。又法名に恥じない心、行動で年月を重ねて行きます。色々のご指導を戴きありがとうございます。また、これからもよろしく願います。



前沢富美子さん 釋尼富慶しやくにふきやう

真宗門徒の一員にさせていただいたこと、心より感謝いたしております。

ご住職より真のお言葉、教え等々を聞き、この先お言葉(教え)を忘れず、人生を感謝と共に生きて行こうと心にきざんで、夫婦で生きて行きたいと思っています。

「感謝」

森夫佐代さん 釋尼蓮代しやくにれんだい

私(自分)の精進の為に受講を決めての始まりでございましたが、大変おがましい考えで出発致し、はずかしい思いになっております。

自分の勝手な思いで75年の時を過ごし、参った我が身、まさに本日4月8日を誕生の時と位置づけ“三宝”に帰依致す生活を心に決めて、この先の日々を、迷うことなく生活して参りたいと思い、決心をいたしました。

このご縁を頂き、有り難うございました。

お寺からの記念品として、法名紙用の額縁を差し上げました。仏弟子として生きるところを願われている名前です。見えるところに置いていただきたいと思います。(住職)



花まつり法要 ご報告

4月8日の日曜日、午前中に帰敬式を執り行い、午後には「花まつり法要」をお勤めいたしました。

帰敬式を受式された皆さんも一緒に参加いただきましたが、これからは、帰敬式を受式された方々の「帰敬のつどい」という意味合いを持たせて、受式者の皆さんにはご案内していきたいと思います。

「花まつり」は、本来、お釈迦さまのご誕生を祝う仏教徒の法要ですが、親鸞聖人の誕生日が4月1日ということもあり、光明寺での「花まつり」は、「お釈迦さまの誕生日」、「親鸞聖人の誕生日」、そして「新たな仏弟子の誕生日」という3つの誕生祝いとして、お勤めしてまいります。

また、「花まつり」は誕生を祝う法要ですので、赤ちゃんの「初参り式」としても、ぜひご参詣いただきたいと思っています。
そんなことで、来年もご案内いたします。

さて、「花まつり法要」前の1週間は、お寺の玄関に「花御堂」を設置いたしました。お釈迦さまに甘茶をかけていただき、また、甘茶をお飲みいただけるようにしておりますが、多くの方に味わっていただいたようです。来年も、ぜひ、お立ち寄りください。



花御堂の屋根は、「光明寺支援スタッフ」の方々に造花でお飾りいただきました。

来年も楽しく、皆さんと「花まつり」を迎えたいと思います。



写教の会 ご報告

4月18日水曜日、第1回目の「写教の会」を開催いたしました。7名のご参加がありました。書写するのは「正信偈」です。

お一人お一人が、静かに「正信偈」の言葉に向き合う時間を大切にいただきたいと思います。お勤めであげている「正信偈」ですが、「こういう字だったのね」とおっしゃっていた方がいらして、改めて教えの言葉に出遇われたようでした。

14時〜17時の間で、都合のいい時間に来ていただいて、後はご自由に過ごしていただいています。

書写の仕方は、筆を使って書かれている方、筆ペンで書かれている方と様々です。

ぜひ一度、ご参加いただきたいと思います。



「光明寺同朋の会」のご案内

日頃親しんでいる「正信偈」とは、どのような教えなのか、また、親鸞聖人は私たちに何を伝えたかったのか、一緒にたずねてまいりましょう。

テーマ：「正信偈」には何が書かれているの？

法話…当寺住職

日時…5月26日（土） 14時～16時30分

会場…光明寺本堂

会費…500円（別途テキスト600円）

「永代経法要」のご案内

永代経法要は亡くなっていかれた方々をご縁として、今を生きる私たちが教えに出遇う法要です。親から子、孫へと大切な事柄を引き継ぎ、相続していくことが願われます。（ご希望の方は、お寺へご連絡ください）

日時…2018年5月13日（日曜日）

午後1時より法要・法要後法話

法話…当寺住職

お斎…2時半ころ～3時半ころまで

会費…お志

「体幹らくらくヨガ」のご案内

「コバト」で

疲れにくい体を手に入れよう

リラックスした気持ちで、ヨガを体験してみませんか。無理なく体を動かしながら、自然と体の内側を鍛えることが出来ます。

日常から離れて、自分の体と向き合い、心地よい時間を過ごしましょう。

日時…6月12日（火）10時30分～11時30分

6月26日（火）19時～20時

7月10日（火）10時30分～11時30分

7月24日（火）19時～20時

申込み…お電話にて、お申し込みください。

※お一人様がひと月に申し込みできるのは1回のみです。

定員…各回12名（定員になり次第締切ります）

会費…1,000円

持参物…①ヨガマットをお持ちの方はご持参ください。

②お飲み物は各自ご用意ください。

※動きやすい服装でお越しください。

（お寺でお着替えもできます）

深雪アートフラワー

「アート・花浪漫」に

行ってきました！

ご門徒の前田勝己さんが、4月23日（月）28日（土）の間、日比谷の交通会館のギャラリーでアートフラワーの個展を開かれましたので、坊主と出かけてきました。

一言で言いますと、「素晴らしい！」。

布で作られているということなのですが、色の鮮やかさ、そして細部にわたる気配りとこだわり、本当に、きれいなお花を見ているようでした。

いつの日か、お寺でも展示させていただいて、皆さんにも、ぜひご覧いただきたいと思いました。本当に、素敵な作品でした。

